県政報告　佐々木順一がんばってます！　平成23年3月15日発行

岩手県議会議員

佐々木順一 がんばってます！

二月定例県議会 今任期最後の一般質問に立つ

六、八一六億円余の平成二十三年度岩手県一般会計当初予算案などを審議する今任期最後の二月定例県議会は、去る二月十五日に招集されました。二月二十二日から二十五日までの四日間は一般質問が行われました。私も、二月二十三日の一般質問に登壇、①本県の財政状況について、②一括交付金について、③地域振興の成果と課題について、④社会資本整備について、⑤農業問題について、⑥観光振興について、⑦いわて花巻空港の利用促進について、の七項目にわたり知事及び関係部長の見解を質しました。このうち「いわて花巻空港」関係の質問については、翌日の岩手日報に取り上げられました。記事をご覧になった方々もおられたと思います。私が行った一般質問の内容と知事、部長の答弁の詳細につきましては、インターネットで「岩手県議会」にアクセスしていただければ全文をお読みいただくことができます。明年度当初予算案は、三月一日から十一まで開かれた予算特別委員会で審議、十五日の最終本会議で採決され成立いたしました。今回成立した明年度予算は、知事選が控えていることから骨格予算となっており、改選後に開かれる六月定例県議会で二十三年度の政策的予算が新知事によって提案されることになっております。また、裏面には「最近の新聞で見る佐々木順一の活動」をまとめて見ました。さらに、来年度から「農業者戸別所得補償制度」が本格的に実施されることから、モデル事業として行われてきた本年度（平成22年度）と来年度の本県における作物別交付単価（10ａ当り）の比較や新しくスタートする畑作への戸別所得補償制度の概要などについても分かりやすくまとめてみました。今任期最後の県政報告書の送付となりましたが、不明な点、疑問な点などがありましたなら遠慮なく当事務所にお問い合わせ願います。

国際線誘致へ新組織 県議会本会議 花巻空港で県方針

県議会2月定例会は23日、本会議を再開。及川幸子（民主党・ゆうあいクラブ）、小西和子（社民党）、佐々木順一（民主党・ゆうあいクラブ）の3氏が一般質問した。県は2011年度に花巻空港の国際線誘致などを担当する特命課長の国際線誘致などを担当する専門チームを設置し、アジアを中心に新路線誘致を強化する方針を示した。

花巻空港の利用促進策は佐々木氏が取り上げた。県は11年4月から、空港課内に新規路線誘致を担当する特命課長を配置。専門チームを組織し、アジアを中心に路線誘致の営業を強化する。

平井節生県土整備部長は「新規航空会社や新路線の誘致を強化する」と述べた。

花巻空港は日本航空の経営悪化などで利用者数が減少し、現在の定期便は大阪と札幌の2路線だけで、国際線誘致を期待する。

県は花巻空港就航に向けて調整を進めていた韓国の格安航空会社（LCC）の国際チャーター便の年度内誘致を断念した。2011年度の夏季就航に目標を切り替え、誘致交渉を強化する。

県によると、韓国の旅行代理店などによるツアー客の確保や料金設定が難航しているとから、調整が進んでいないという。

県は10年度内の就航を困難と判断し、11年度の誘致を目指して再度交渉する方針。11年度は国際線誘致の新規路線を設置し、現地の人材づくりや観光の魅力発信に努めて効果を上げるとする。

平井節生県土整備部長は「半数の誘致は難しいが、来年度就航の可能性はある。現地チームを設置し、現地で本県の観光資源などをPRする」とした。

（岩手日日 23.2.24）

韓国LCCの年度内断念 11年度夏に目標切り替え

傍聴にこられた皆さんとともに、県議会正面玄関前

「約束は守る」それが政治だ！

佐々木順一のプロフィール

現在	民主党岩手県総支部連合会幹事長 岩手県議会民主党・ゆうあいクラブ代表（所属議員24名）
出身地	岩手県花巻市石鳥谷町新堀
生年月日	昭和27年1月29日生（みずがめ座）
最終学歴	昭和49年　東北学院大学法学部卒
経歴	昭和49年　自由民主党岩手県支部連合会職員 平成 5年　衆議院議員 小沢一郎秘書 平成 7年　岩手県知事増田寛也政務秘書 平成11年　岩手県議会議員初当選（連続3期） 平成19年　民主党岩手県総支部連合会幹事長（連続3期）

The Democratic Party of Japan 民主党 時局講演会

日時／平成23年3月20日（日）18:00～
場所／石鳥谷生涯学習会館（花巻市石鳥谷町中寺林7-1-1）

佐々木順一講演会共催「総決起集会」開催

弁士　岩手県知事 達増拓也　他

●佐々木順一事務所　〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-103-4　TEL・FAX 0198-45-5924

新聞で見る最近の佐々木順一の活動

米価下落に融資制度
県、補正予算提案へ

県は12日、米価下落に伴う農家の資金繰り対策として、本県独自に無利子のつなぎ融資制度を創設する方針を決めた。25日招集の県議会12月定例会に補正予算案を提案する方針。コメの概算金下落による農家の減収総額は72億円程度に上り、融資枠はその3分の1程度を軸に調整が進むとみられる。

農家減収の3分の1程度か

県は現在、制度設計について検討中だが、金融機関への貸付金預託制度が有力。「戸別所得補償制度では米価変動部分の交付金が3月までに支払われるため、それまでのつなぎ資金などにしてもらう方向だ。

県の調べでは、概算金下落に伴うコメ農家の減収総額は71億7千万円。県が10月下旬、県内の農家と集落営農組織に行った聞き取り調査では51%が「買掛金・未払い金の支払いができない」と答えた。

隣県ではコメ農家の資金繰り対策として、山形県が融資枠約12億円、秋田県が約30億円の利子補給制度を創設。本県は冷害に見舞われた1993年度、市町村や金融機関と協調して利子補給を実施している。

県議会会派の民主党・ゆうあいクラブ（佐々木順一代表）は同日、県に米価下落対策を申し入れ、達増知事は「農家は経営に不安を抱えている。来季を安心して迎えられるよう、できる限りの対策を講じたい」と述べた。

（岩手日報 22.11.13）

達増知事に無利子のつなぎ融資制度創設の要望書を提出する佐々木代表

県南首長ら要望
6団体 道路整備促進など
民主県連に

東北横断道釜石・花巻間の整備促進などを求めて28日、県南地域の首長らが民主党県連に対して政策要望を行った。

要望したのは▽東北横断道釜石秋田線釜石・花巻間建設促進期成同盟会（会長・大石満雄花巻市長）▽釜石自動車道利用促進協議会（同・本田敏秋遠野市長）▽北上川流域地域産業活性化協議会（同・伊藤彬北上市長）▽県道路整備促進期成同盟会（同・大石花巻市長）▽県市町村道整備促進期成同盟会（同・勝部修一関市長）▽主要地方道花巻大曲線花巻・沢内間整備促進期成同盟会（同・川村伸浩花巻市議会議長）─の6団体。

盛岡市大通の同党県連事務所で、大石花巻市長や小沢昌記奥州市長、細井洋行西和賀町長、本田遠野市長らが県連の佐々木順一幹事長に対して各団体からの要望書を提出した。

釜石・花巻間の整備促進については、釜石・遠野間の整備計画を早期に策定するとともに、新直轄方式での整備対象指定区間となった遠野・東和間の整備促進と早期完成、2011年度概算要求に当たって所要の予算を確保し、高速自動車道など高規格幹線道路網の整備推進を求めている。

要望を受けた佐々木幹事長は「間違いなく党本部の幹事長室に届ける」と説明。特に、釜石・花巻間の整備促進については、10年度事業費並みの予算確保に向けて努力したい」と語った。

民主党県連の佐々木幹事長に要望書を手渡す大石花巻市長ら県南の首長ら

（岩手日日 22.9.29）

県議会新会派が誕生
「民主党・ゆうあいク」過半数の25人に

県議会最大会派の民主党（佐々木順一代表、23人）とゆうあいクラブ（田村誠代表、2人）が合流し新会派の「民主党・ゆうあいクラブ」が誕生した。2日に新会派結成の届け出を県議会へ提出して受理された。これで民主系会派は定数48の県議会で過半数に達し25人となった。

佐々木代表が県議会の佐々木一榮議長に届け出文書を提出。提出には田村代表も立ち会った。

合流の経緯について田村代表は、少人数のため議会内で制約があったこと、各選挙で共闘してきた関係があったことに加え「民主党から要請があった」と説明。一方の民主党は、達増県政を支えるべく単独での過半数を目指していた。

佐々木代表は「過半数に達したことで、一般議案はおおむね可決できる。今まで以上に責任ある議会対応が求められる」との認識。

議会運営上、多数派が力を持つことについては「民主主義の大前提は数で結果が決まる選挙。結果を受けて代議員が議会に参加するのだから『数の横暴』には当たらない」と主張し「少数派は過半数を狙うのが当然」との考えを示した。

佐々木議長（左）に新会派結成の届け出文書を提出する佐々木代表

（岩手日日 22.9.3）

津波被害
漁業者への支援を
県議会民主党会派 知事に要望書提出

津波被害に伴う要望書を達増知事に提出する県議会民主党会派の佐々木県議

県議会民主党会派は9日、達増拓也知事に対してチリ大地震津波で被害を受けた漁業者への生活支援などを盛り込んだ要望書を提出した。

党県総支部連合会の幹事長を務める佐々木順一氏をはじめ、沿岸地区を代表して伊藤勢至（宮古）、佐々木一榮（陸前高田）の両氏が知事室を訪れ、達増知事に早期の支援を求めた。

今回の要望は同党が行った現地調査のほか、沿岸の自治体や漁業団体、漁業者からの意見・要望などを踏まえ5項目に集約。この中では養殖施設の復旧・復興に向けた施策をはじめ、被災者への生活支援なども含まれており、収入源を断たれ疲弊している漁業者に対して一刻も早く救済措置を講じるよう申し入れた。

これに対して達増知事は、「緊急に2009年度一般会計補正予算案に津波対策の関連予算を盛り込むほか、国にも支援策を要望していく考えを改めて示した。

県が9日午前10時現在でまとめた津波による被害額は、大船渡市など6市町で約17億6000万円に上っている。

（岩手日日 22.3.9）

ホームページに 写真入り 「佐々木順一日記」を開設
継続は力なり 毎日連載

毎日、「佐々木順一日記」を書いております。具体的には、毎日の諸行事やら日々の出来事、感じたことなど「継続は力なり」を大いに意識しながら、出来るだけ写真も取り入れ乱筆ながらも書き続けております。

また、岩手県議会のホームページもリンクさせました。私が議会で発言した議事録や最近の一般質問の模様（音声と動画）なども放映しております。興味、関心のおありの方はアクセスしてみて下さい。